

## 健全化判断指標③

# 実質公債費比率

一般会計等が負担する元利償還金・準元利償還金の標準財政規模に対する比率（3ヶ年平均）

準元利償還金・・・繰出金（一般会計等→企業会計）中、公営企業債への償還充当分、債務負担行為に基づく支出中、公債費に準ずるもの など



## 熊本市の実質公債費比率

実質公債費比率	=		実質的な公債費 (元利償還金・準元利償還金等)	—	・充当特定財源額 ・基準財政需要額算入額	=	標準財政規模 (臨時財政対策債を含む)	—	基準財政需要額算入額
	H26	$\frac{40,199}{160,525}$	—	$\frac{27,078}{20,632}$	=			9.38%	3ヶ年平均 <b>9.9%</b>
H25	$\frac{40,278}{159,765}$	—	$\frac{26,287}{19,861}$	=	10.00%				
H24	$\frac{40,596}{158,051}$	—	$\frac{26,277}{19,658}$	=	10.35%				

早期健全化ライン（25%）を下回っている